

2014 年度 研究所・センター事業報告書

研究所・センター名	歴史都市防災研究所
研究所・センター長名	所長・大窪 健之

I. 研究成果の概要

本欄には、研究所・センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、研究所総合計画(5 ヵ年)および 2014 年度重点プロジェクト申請調書に記載した内容に照らし、項目立てなどをおこなうできるだけわかりやすく記述してください。

文化遺産・歴史都市の保全活用と災害安全の両分野をつなぐ総合的な研究領域である文化遺産防災学を創発し、これに関する研究・教育・社会連携、さらには情報基盤の拠点形成を目標に据えた活動を、継続的に実施した。以下、具体的な成果について、活動項目毎に要約する。

①文化遺産防災技術研究部会: 主に技術開発に関する研究課題を実施した。(1)高山市伝統木造建築物の耐震化マニュアルによる改修法を開発。(2)火災発生情報の地域共有システムを福祉センサーと共に実用化。(3)市民による日常利用と維持管理が可能な高機能型消火栓を開発。(4)タイ王国アユタヤで仏塔の傾斜原因調査と沈下シミュレーションを実施。そして、(5)世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」における斜面崩壊メカニズムの解明を行った。

②歴史災害研究部会: 歴史災害を分析し過去の滅災の知恵を現代に活かす研究を推進した。具体的には、(1)東日本大震災の津波被災地にみられる緊急避難施設としての寺院の役割を明らかにしたほか、(2)東日本大震災に関する地理空間情報の整備とこれを利用した震災リスク評価の研究を実施し、(4)南三陸町の復興まちづくりに資する祭礼の記憶地図に関する質的 GIS 研究とあわせて、国連世界防災会議パブリックフォーラムを開催し、成果の公開と討議をはかった。また、(5)京都市日新聞にもとづく明治後期の災害データベースを完成させ、京都の被災史の情報基盤を拡充した。

③歴史都市防災計画研究部会: 歴史と文化を守る防災まちづくり計画に必要な研究を推進した。具体的には、(1)神戸市や篠山市の重要伝統的建造物群保存地区での歴史防災まちづくり計画を策定。(2)与謝野町加悦伝建地区の防災計画に関する実施プランの検討、(3)京都市中心部や東山地区を対象とした災害発生状況に応じた交通流動の推定と観光客の避難誘導経路の選定を行った。加えて、(3)滋賀県で水害リスク情報や共助による対応方法を現代のコミュニティに伝える水害履歴調査を行った。

④文化遺産における人災・獣害研究部会: 社寺へのアライグマ等の獣害被害と監視装置の高度化に関する研究を実施した。具体的には(1)京都府の 2 自治体で実施されたアライグマの獣害調査結果を GIS 環境で分析し、被害の実態と周辺環境との関連を明らかにした。また、ハクビシンによる被害拡大も報告した。(2)不審行動を自動検出する自動監視装置(社寺みまもりシステム)のために、ツリー構造グラフによる検出方法を提案し、高い精度で検出できる可能性を確かめた。

⑤歴史都市・文化遺産の継承と保全のための政策研究部会: 文化遺産(資産)の保全・継承にあたって不可欠な(1)財政の政策科学的検討として、文化遺産保全の予算計画、維持管理などの実態調査を進めるとともに、防災に関連する経済評価手法を開発した。また、(2)観光と防災と両立させる政策研究課題として、多様な主体を含むコミュニティ防災の方策や、観光客を考慮した文化遺産周辺地域の防災政策研究を実施した。

⑥国際展開・社会連携 研究支援プログラム: (1)第 9 回となる UNESCO Chair 国際研修では、135 名の応募者より研修者 14 名を選出し、「歴史都市の災害リスクの緩和」をテーマに実施した。フォローアップ事業として、ミャンマー連邦共和国の世界遺産ピュー王朝の古代都市群のあるシュリー・クシェトラにおいて、地域研修を実施した。また、国際研修のトレーナーズガイドに関する DVD 教材を作成した。他に、第 12 回立命館大学・タマサート大学共同ワークショップ等の国際連携の事業を実施した。またフィールドでの人材育成と社会還元を目的に、市民組織「明日の京都～文化遺産プラットフォーム」との連携を推進し、清水寺で防災に関する集中講義を行った。文化遺産の災害脆弱性評価に必要な基礎データとなる GIS アーカイブを管理・配信する GIS のウェブポータルを試作した。

⑦研究所のその他主催事業: 年次事業「第 8 回・歴史都市防災シンポジウム」(7/5)を開催し、44 件の研究発表と活発な討議が行われ、国内外から約 117 人の参加があった。公開セミナーとして、「アライグマ・セミナー 2015」(関西野生生物研究所と共催)、「京都歴史災害研究会」を開催したほか、社会に開かれた GIS のイベントである「GIS Day in 関西」を主催し、防災のための GIS 講習を提供した。定例研究会も、年度内に 7 回開催し、各研究部会の若手研究者から成果報告がなされ活発な研究交流を行なった。他にも学術論文集「歴史都市防災論文集 Vol.8」や「京都歴史災害研究 第 16 号」を刊行。「第 8 回地域の安全安心マップコンテスト」では 48 作品(75 名)の応募があり、幅広い地域からの作品が寄せられた。

学内の若手研究者	専門研究員・研究員	崔 明姫	衣笠総合研究機構	専門研究員
		石田 優子	衣笠総合研究機構	専門研究員
		金 度源	衣笠総合研究機構	専門研究員
		米島 万有子	立命館グローバル・イノベーション研究機構	専門研究員
	学振特別研究員 PD,RPD			
	補助研究員・リサーチアシスタント			
	博士後期課程院生・一貫制博士課程3回生以上在籍院生	荒川 昭治	理工学研究科	博士課程後期課程
		飯塚 隆藤	文学研究科	博士課程後期課程
		谷端 郷	文学研究科	博士課程後期課程
		赤澤 史顕	理工学研究科	博士課程後期課程
		速見 智	理工学研究科	博士課程後期課程
		平岡 伸隆	理工学研究科	博士課程後期課程
		Nyein Aye Maung Maung	情報理工学研究科	博士課程後期課程
		Kallaya Tantiyaswasdikul	政策科学研究科	博士課程後期課程
		I-soon Raungratanaamporn	政策科学研究科	博士課程後期課程
		Fitrio Ashardiono	政策科学研究科	博士課程後期課程
		Muhammad Suhail	理工学研究科	博士課程後期課程
		松尾 勉	理工学研究科	博士課程後期課程
		谷崎 友紀	文学研究科	博士課程後期課程
郭 凱泓		文学研究科	博士課程後期課程	
本多 彩夏		政策科学研究科	博士課程後期課程	
酒井 宏平		政策科学研究科	博士課程後期課程	
その他(立命館大学の非常勤講師・研究生・研修生等・博士前期課程院生等)	本多 健一	文学部	非常勤講師	
	河角(赤石) 直美	文学部	非常勤講師	
	村上 晴澄	文学研究科	研修生	
	岩瀬 功樹	理工学研究科	博士課程前期課程	
	田本 将之	理工学研究科	博士課程前期課程	
	村田 紀文	理工学研究科	博士課程前期課程	
	三輪 卓矢	理工学研究科	博士課程前期課程	
	高階 亮介	理工学研究科	博士課程前期課程	
	露木 誠	理工学研究科	博士課程前期課程	
	中村 圭祐	理工学研究科	博士課程前期課程	
	古川 真史	理工学研究科	博士課程前期課程	
	湯浅 卓	理工学研究科	博士課程前期課程	
	大矢 綾香	理工学研究科	博士課程前期課程	
	木村 亘	理工学研究科	博士課程前期課程	
	黒岩 晃平	理工学研究科	博士課程前期課程	
	田邊 友章	理工学研究科	博士課程前期課程	
	馬場 直輝	理工学研究科	博士課程前期課程	
	宮嶋 佳之	理工学研究科	博士課程前期課程	
	濱島 優大	文学研究科	博士課程前期課程	
	永田 匠	文学研究科	博士課程前期課程	
永田彰平	文学研究科	博士課程前期課程		

	佐藤 弘隆	文学研究科	博士課程前期課程
	小泉 慶太郎	文学研究科	博士課程前期課程
	上田 昌志	政策科学研究科	博士課程前期課程
	Siriluk Mongkonkerd	政策科学研究科	博士課程前期課程
	Sachi Perera	政策科学研究科	博士課程前期課程
	Wiji Lestari	政策科学研究科	博士課程前期課程
	Relinda Puspita	政策科学研究科	博士課程前期課程
	Kartika Puspita Sari	政策科学研究科	博士課程前期課程
	稲村 雄一郎	理工学研究科	博士課程前期課程
	国島 岳大	理工学研究科	博士課程前期課程
	宮田 雄大	理工学研究科	博士課程前期課程
	山口 純平	理工学研究科	博士課程前期課程
	孫 夢霞	理工学研究科	博士課程前期課程
	中野 峻也	理工学研究科	博士課程前期課程
	牧本 祐樹	理工学研究科	博士課程前期課程
	竹中 賢太	理工学研究科	博士課程前期課程
	森川 美智子	理工学研究科	博士課程前期課程
	岩瀬 智哉	理工学研究科	博士課程前期課程
	鳥山 愛里	理工学研究科	博士課程前期課程
	荒木 康之	理工学研究科	博士課程前期課程
	宮田 拓馬	理工学研究科	博士課程前期課程
	常木 佳奈	文学研究科	博士課程前期課程
	今村 聡	文学研究科	博士課程前期課程
	前田 一馬	文学研究科	博士課程前期課程
	阿部 みゆき	文学研究科	博士課程前期課程
	松尾 眞吾	文学研究科	博士課程前期課程
客員協力研究員	高松 正彦	一般財団法人日本緑化センター 緑化事業部	次長
	田中 哮義	京都大学	名誉教授
	森 清顕	清水寺	執事補
	高橋 暁	ユネスコ太平洋州事務所	文化担当官
	福島 信夫	株式会社中蔵	特別顧問
	福山 大典	株式会社アイエス工業所	
	樋本 圭佑	独立行政法人建築研究所	
	岡田 篤正	京都大学／兵庫県立大学	名誉教授／客員教授
	川崎 一郎	京都大学	名誉教授
	北原 糸子	立命館大学衣笠総合研究機構	客員協力研究員
	高橋 春成	奈良大学文学部	教授
	川道 美枝子	関西野生生物研究所	代表
	諏訪 浩	東京大学 空間情報科学研究センター	客員研究員
	水田 哲生	(公財)大学コンソーシアム京都 高等 教育研究推進事業部シンクタンク事業	プロジェクト・マネー ジャー
	和泉 潤	名古屋産業大学環境情報ビジネ ス学部	特任教授

	城月 雅大	名古屋外国語大学現代国際学部	講師
	大槻 知史	高知大学総合科学系地域共同教育学部門	准教授
	石橋 健一	名古屋産業大学環境情報ビジネス学部	准教授
	梶 秀樹	筑波大学	名誉教授
	神田 隆男	社団法人京都国際工芸センター	事務局長
	山崎 文雄	千葉大学大学院工学研究科	教授
	Chaweewan Denpaiboon	タマサート大学建築学部(タイ)	准教授
	高橋 彰	公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター	職員
	桐村 喬	東京大学空間情報科学研究センター	助教
	松本 文子	神戸大学 自然科学系先端融合研究環 重点研究部	助教
	高木 良枝	京都市指定文化財長江家住宅袋屋	研究員
	中島 宏典	京都市景観・まちづくりセンター	職員
	矢尾田 清幸	総合地球環境学研究所	プロジェクト研究員
	青木 和人	宇治市教育委員会 西宇治図書館	館長
	安本 晋也	東京大学大学院 医学系研究科 国際保健学専攻	特任助教
	花岡 和聖	東北大学 災害科学国際研究所	助教
	埴淵 知哉	中京大学国際教養学部	准教授
	棚橋 秀光	立命館大学衣笠総合研究機構	客員協力研究員
	岸 祐介	首都大学東京 都市環境学部 都市環境学科都市基盤環境コース	助教
	Shakya Lata	独立行政法人日本学術振興会	外国人特別研究員
	佐藤 英佑	大成建設株式会社	
学外研究機関所属研究者 (他大学等で非常勤講師を担当している者を含む)	Joseph Allan King	ICCROM	Director of Site Unit
	Giovanni Boccardi	UNESCO 世界遺産センター	Focal Point Officer
	Zeynep Gul Unal	ユルドゥス工科大学	准教授
	Kai Weise	UNESCO カトマンズ事務所	コンサルタント
	秋枝 ユミ イザベル	東京藝術大学	非常勤講師
研究所・センター構成員 計 139 名 (うち学内の若手研究者 計 20 名)			

Ⅲ. 研究業績

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2015年3月31日時点)

(1). 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所・発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	大窪 健之	Tohoku Recovery: Challenges, Potentials and Future, Chapter.6” Temples and Shrines as Contemporary Shelters that Support Evacuees”	共著	2014年11月	Springer	Takeyuki OKUBO	pp. 65-78
2	中谷 友樹	地理情報システムによる東日本大震災の文化財被災地図—震災	分担執筆	2014年7月	吉越昭久編「災害の地理学」文理閣	中谷友樹	233-255

		による文化財被災リスク分布の把握に向けて—					
3	Nakaya T	Geographically weighted generalised linear modeling	分担執筆	2015年1月	Brunsdon, C. and Singleton, A. eds. Geocomputation: A Practical Primer, Sage Publication	Nakaya T	201-220
4	中谷 友樹	空間分析におけるスケール	分担執筆	2015年3月	浅見泰司・矢野桂司・貞広幸雄・湯田ミノリ編「地理情報科学 GIS スタンダード」古今書院	中谷友樹	120-125
5	Toyoda Yusuke	Gaming as an “Effective” Tool for Community-based Disaster Reduction in “Back to The Future of Gaming”	分担執筆	2014年7月	W. Bertelsmann Verlag GmbH & Co.	Toyoda Yusuke	100-110
6	Toyoda Yusuke	Gaming Simulation for Community-Based Disaster Reduction in “The Shift from Teaching to Learning: Individual, Collective and Organizational Learning through Gaming Simulation”	共著	2014年7月	W. Bertelsmann Verlag GmbH & Co.	Toyoda Yusuke, Kanegae Hidehiko and Sakai Kohei	330-344
7	矢野 桂司	ジオデザインのフレームワーク	編著	2014年7月	古今書院	石川幹子・矢野桂司	238
8	矢野 桂司	東日本大震災の復興に向けてのジオデザインの適用—福島県相馬市を対象としたワークショップの事例—	単著	2014年7月	『災害の地理学』文理閣	吉越昭久	212-232
9	矢野 桂司	文化情報学ガイドブック	編著	2014年11月	勉誠出版	赤間亮・鈴木桂子・八村広三郎・矢野桂司・湯浅俊彦	219
10	矢野 桂司	文化情報をコーディネートする	単著	2014年11月	『文化情報学ガイドブック』勉誠出版	赤間亮・鈴木桂子・八村広三郎・矢野桂司・湯浅俊彦	15-29
11	矢野 桂司	既存データの地図データと属性データ	単著	2015年3月	『地理情報科学:GIS スタンダード』古今書院	浅見泰司・矢野桂司・貞広幸雄・湯田ミノリ編	41-49
12	矢野 桂司	地理情報科学:GIS スタンダード	編著	2015年3月	古今書院	浅見泰司・矢野桂司・貞広幸雄・湯田ミノリ編	212
13	矢野 桂司	誓願寺門前図屏風を洛中絵図と重ねる—高精細デジタル画像を用いて—	単著	2015年3月	『展覧会図録「京を描く」』京都文化博物館	京都文化博物館編集	218-225
14	吉越 昭久	災害の地理学	編	2014年7月	文理閣	吉越 昭久	
15	吉越 昭久	日本風水害誌集 第一巻 昭和二十二年九月埼玉県水害誌	編	2015年3月	クレス出版	吉越 昭久	1-1016
16	吉越 昭久	日本風水害誌集 第二巻 大阪市風水害誌	編	2015年3月	クレス出版	吉越 昭久	1-1226
17	吉越 昭久	日本風水害誌集 第三巻 昭和九年岡山県風水害誌	編	2015年3月	クレス出版	吉越 昭久	1-324
18	吉越 昭久	日本風水害誌集 第四巻 昭和二十八年六月福岡県水害誌	編	2015年3月	クレス出版	吉越 昭久	1-565
19	武田 史朗	コンパクト建築設計資料集成 都市再生	分担執筆	2014年	丸善	日本建築学会(編集)	147-149, 152, 154

(2). 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	大窪 健之	市民消火栓の日常利用促進のための操作性改善と利用方法の検討 ～京都市清水寺地域の住民による評価を通して～、	共著	2014年5月	地域安全学会大会研究発表会(春季), B-7	塩浜裕紀、大窪健之、金度源	pp. 73-76	無

2	大窪 健之	南海トラフ地震時に一時避難場所となる社寺の実態と避難所転用の際の課題～高知県沿岸部の黒潮町を対象として～	共著	2014年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集, 第54号・計画系	森尾潤・大窪健之・金度源・中村圭佑・林倫子	pp. 385-388	無
3	大窪 健之	重要文化財・松山城の避難計画に関する研究～エージェント型避難シミュレーションを用いた有効性評価～	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集 vol.8	大窪健之、福田和弘	pp.173-180	有
4	Takeyuki OKUBO	Traditional wisdom for disaster mitigation in history of Japanese architectures and historic cities, Cultural Help 2014	共著	2014年10月	ICOMOS/ICORP, ポルト (ポルトガル)	Takeyuki OKUBO (基調講演・アブストラクト査読付)		有
5	鈴木 祥之	土壁から採取した壁土の性質	共著	2014年7月	2014年日本建築学会北陸支部研究報告集、第57号	浦 憲親、鈴木祥之	pp. 102-103	無
6	鈴木 祥之	東本願寺御影堂門における板壁構面の耐震性能と吸い付き棧を用いた補強法に関する実験的研究	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集 Vol. 8	瀧野敦夫、鈴木祥之	pp. 25-32	有
7	Yoshiyuki Suzuki	SEISMIC RESISTING MECHANISM AND FORMULATIONS OF TRADITIONAL WOODEN JOINTS WITH WEDGES	共著	August, 2014	Proceedings of World Conference on Timber Engineering (WCTE 2014), Quebec City, Canada	Hideaki Tanahashi, Yu Ooka, Kazuyuki Izuno, Yoshiyuki Suzuki	Paper No.122	有
8	Yoshiyuki Suzuki	SEISMIC PERFORMANCE OF AGED AND DETERIORATED WOODEN JOINTS OF JAPANESE TRADITIONAL TIMBER STRUCTURES	共著	August, 2014	Proceedings of World Conference on Timber Engineering (WCTE 2014), Quebec City, Canada,	Yu Ooka, Kazuyuki Izuno, Hideaki Tanahashi, Yoshiyuki Suzuki	Paper No.328	有
9	Yoshiyuki Suzuki	EVALUATION OF RESTORING FORCE CHARACTERISTICS OF MUD-WALLS CONSIDERING EFFECT OF WALL-HEIGHT FOR SEISMIC STRUCTURAL DESIGN	共著	August, 2014	Proceedings of World Conference on Timber Engineering (WCTE 2014), Quebec City, Canada	Hiroyuki Nakaji, Masami Gotou, Hiro Kawahara, Yoshiyuki Suzuki	Paper No.589	有
10	Yoshiyuki Suzuki	DEVELOPMENT OF NUMERICAL ANALYSIS METHOD FOR JAPANESE TRADITIONAL WOOD HOUSES CONSIDERING THE SLIDING BEHAVIOR OF COLUMN ENDS	共著	August, 2014	Proceedings of World Conference on Timber Engineering (WCTE 2014), Quebec City, Canada	Takafumi Nakagawa, Mikio Koshihara, Naohito Kawai, Yukio Saito, Yoshiyuki Suzuki	Paper No. 610	有
11	Yoshiyuki Suzuki	INFLUENCE OF ARRANGEMENTS OF WALLS AND OPENING ROOFS TO MAXIMUM SEISMIC RESPONSE OF JAPANESE TRADITIONAL WOODEN HOUSE	共著	August, 2014	Proceedings of World Conference on Timber Engineering (WCTE 2014), Quebec City, Canada	Koji Yamada, Yoshiyuki Suzuki, Yukio Saitoh	Paper No. 210	有
12	Yoshiyuki Suzuki	QUANTITATIVE EVALUATION FOR INFLUENCE OF ECCENTRICITY TO DESIGN ASYMMETRIC HOUSING STRUCTURE WITH FLEXIBLE RIGIDITY AT FLOORS	共著	August, 2014	Proceedings of World Conference on Timber Engineering (WCTE 2014), Quebec City, Canada	Yoichi Mukai, Sanshiro Suzuki, Yoshiyuki Suzuki	Paper No. 599	有
13	鈴木 祥之	吸い付き棧を用いた板壁構面の耐震性能に関する実験的研究	共著	2014年9月	2014年度日本建築学会大会学術講演梗概集 (近畿)	瀧野敦夫・中田欣作・棚橋秀光・鈴木祥之	pp. 87-88	無

14	Nakaya T	Gender differences in association between psychological distress and detailed living arrangements among Japanese older adults, aged 65-74 years	共著	2014年5月	Soc Psychiatry Psychiatr Epidemiol(49巻5号)	Kikuchi H, Takamiya T, Odagiri Y, Ohya Y, Nakaya T, Shimomitsu T, Inoue S.	pp. 823-830	有
16	Nakaya T	Individualized and institutionalized residential place-based discrimination and self-rated health: a cross-sectional study of the working-age general population in Osaka city, Japan.	共著	2014年5月	BMC Public Health(14巻1号)	Tabuchi T, Nakaya T, Fukushima W, Matsunaga I, Ohfuji S, Kondo K, Inui M, Sayanagi Y, Hirota Y, Kawano E, Fukuhara H.		有
17	Nakaya T	Associations of All-Cause Mortality with Census-Based Neighbourhood Deprivation and Population Density in Japan: A Multilevel Survival Analysis.	共著	2014年6月	PLoS ONE(9巻6号)	Nakaya T, Honjo K, Hanibuchi T, Ikeda A, Iso H, et al.	e97802	有
18	中谷 友樹	社会格差を視る小地域のセンサス指標：地理的剥夺指標とジオデモグラフィクス	共著	2014年8月	地域開発(599巻)	中谷友樹・矢野桂司	pp. 35-40	無
19	中谷 友樹	階層ベイズモデルを利用した小地域疾病地図-近隣地区を単位とする健康格差の視覚化-	共著	2014年8月	統計(65巻8号)	中谷友樹	pp. 22-27	無
20	Nakaya T	Neighborhood Deprivation and Risk of Cancer Incidence, Mortality and Survival: Results from a Population-Based Cohort Study in Japan	共著	2014年9月	PLoS ONE(9巻9号)	Miki Y, Inoue M, Ikeda A, Sawada N, Nakaya T, Shimazu T, Iwasaki M, Yamaji T, Sasazuki S, Shibuya K, Tsugane S, for the JPHC Study Group	e106729	有
23	Nakaya T	Visualising Emerging Trends of Clusters in a Space-Time Region Using Spatio-Temporal Kernel Regression	共著	2014年9月	Proceedings of GIScience 2014	Nakaya T, Haworth J, Cheng T	pp. 200-204	有
22	中谷 友樹	高校地理での学習内容を活かした防災教育プログラムの開発と実践——身近な地域の水害リスクを事例として——	共著	2014年10月	地理科学(69巻4号)	村中亮夫・谷端郷・飯塚広志・中谷友樹	pp. 195-213	有
15	Nakaya T	Socioeconomic inequalities in cancer survival: A population-based study of adult patients diagnosed in Osaka, Japan, during the period 1993-2004	共著	2014年10月	Acta Oncol.(53巻10号)	Ito Y, Nakaya T, Nakayama T, Miyashiro I, Ioka A, Tsukuma H, Rachet B.	pp. 1423-1433	有
24	中谷 友樹	大阪府におけるがん患者の生存率の社会経済格差：1993-2004年診断患者による分析	共著	2014年12月	JACR Monograph, No. 20	伊藤ゆり・中谷友樹・宮代 勲・井岡亜希子・中山富雄	pp. 69-78	有
21	Nakaya T	Neighborhood contextual factors for smoking among middle-aged Japanese: A multilevel analysis	共著	2015年1月	Health & Place (31巻)	Hanibuchi T, Nakaya T, Honjo K, Ikeda A, Iso H, Inoue M, Sawada N, Tsugane S and JPHC Study	pp. 17-23	有

						Group		
25	中谷 友樹	土地被覆データにもとづく疾病媒介蚊の生息分布域の分析—琵琶湖東沿岸地域を対象に—	共著	2015年3月	地理学評論 88巻2号	米島万有子・中谷友樹・渡辺護・二瓶直子・津田良夫・小林睦生	pp. 159-176	有
26	Nakaya T	Uncovering geographic concentrations of elevated mesothelioma risks across Japan: spatial epidemiological mapping of the asbestos-related disease.	共著	2015年3月	Geographical Reports of Tokyo Metropolitan University (50巻)	Nakaya, T.	pp. 45-53	無
27	Nakaya T	Impact of neighborhood socioeconomic conditions on the risk of stroke in Japan	共著	2015年3月	Journal of Epidemiology(25巻3号)	Honjo K, Iso H, Nakaya T, Hanibuchi T, Ikeda A, Inoue M, Sawada N, Tsugane S, the JPHC Study Group	pp. 254-60	有
28	板谷 (牛谷) 直子	宮城県南三陸町の被災した文化遺産の現状と復興の課題	共著	2014年7月	『歴史都市防災論文集』(Vol.8巻)	板谷直子 (牛谷直子)・ロヒト・ジグヤス・中谷友樹	pp. 55-62	有
29	板谷 (牛谷) 直子	東寺 (教王護国寺) および下鴨神社 (賀茂御祖神社) のバッファゾーンの景観保全の課題—京都の世界遺産バッファゾーンの景観保全に関する研究 2	共著	2014年9月	2014年度日本建築学会全国大会 (近畿) 学術講演会梗概集(F-1巻)	板谷 (牛谷) 直子・山崎正史・矢ヶ崎善太郎	pp. 473-474	無
30	Kanegae Hidehiko	Sustainable Urban Heritage through Participatory Evacuation Map Making for Kotagede, Yogyakarta - A Lesson Learned from Sister City, Kyoto - Japan	共著	2014年	Procedia Environmental Sciences(Forthcoming 巻)	Dyah R. Hizbaron, Sudibyakto, Raditya Jatib, Kanegae Hidehiko and Toyoda Yusuke		有
31	小川 圭一	歴史都市における観光客のための避難経路の抽出方法に関する研究 ~京都市東山区を対象として~	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集 Vol.8	小川圭一, 前川貴哉, 松野真樹, 塚口博司, 安隆浩	pp.181-188	有
32	河角 龍典	京都盆地東部, 白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡における遺構面下の地質.	共著	2014年7月	『京都市埋蔵文化財研究所発掘調査報告 2014-1 延勝寺跡・岡崎遺跡』, 公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所	小野映介・河角龍典	pp. 32-33	
33	河角 龍典	都市史研究とジオアーケオロジー—古代日本における都市開発と微地形—	単著	2014年12月	シンポジウム「都市と大地」シリーズ『都市史の基層として大地・地面・土地を考える』, 日本都市史学会建築歴史・意匠委員会 都市史小委員会	河角龍典	pp. 5-11	
34	河角 龍典	京都盆地東部に位置する白河街区跡, 法勝寺跡, 岡崎遺跡の地質.	共著	2014年12月	『京都市埋蔵文化財研究所発掘調査報告 2014-6 白河街区跡・法勝寺跡・岡崎遺跡』, 公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所	小野映介・河角龍典	pp. 26-27	
35	豊田 祐輔	重要伝統的建造物群保存地区における防災意識の地域特性に関する比較研究	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集.Vol. 8	崔青林, 豊田祐輔, 崔明姫, 谷口仁士, 金玖淑, 朴ジョンヨン, 鈴木祥之	pp. 229-236	有

36	Toyoda Yusuke	A Community Evacuation Planning Model against Urban Earthquakes	共著	2014年8月	Regional Science, Policy and Practice(6巻3号)	Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko	pp. 231-249	有
37	深川 良一	清水寺後背斜面における地中音測定を用いた地下水流動の把握	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集(8巻)	藤本将光、檀上徹、土山拓也、木村亘、深川良一	pp. 145-150	有
38	深川 良一	超音波による土中水分測定の制度懸賞に関する研究	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集(8巻)	平岡伸隆、中野峻也、田中克彦、藤本将光、深川良一、戸狩麻子、岩佐直人	pp. 131-138	有
39	深川 良一	2013年台風18号の豪雨に伴う清水寺境内の被害と地盤内水分変動に関する考察	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集(8巻)	檀上徹、藤本将光、木村亘、平岡伸隆、深川良一	pp. 115-122	有
40	深川 良一	拡開型地中アンカーの開発に向けた室内モデル実験	共著	2014年9月	第7回土砂災害に関するシンポジウム論文集	檀上徹、寺本龍生、宮島佳之、福島信夫、藤本将光、深川良一	pp. 241-246	有
41	深川 良一	超音波による土中水分量計測の定量的評価に関する研究	共著	2014年11月	Kansai Geo-Symposium 2014 論文集	中野峻也、平岡伸隆、田中克彦、藤本将光、深川良一、戸狩麻子、岩佐直人	pp. 217-222	有
42	深川 良一	風化花崗岩山地における基岩地下水の流動層の把握手法の検討	共著	2014年11月	Kansai Geo-Symposium 2014 論文集	馬場直輝、藤本将光、小杉賢一郎、深川良一、谷誠	pp. 43-48	有
43	深川 良一	燃料電池を用いた長期安定的に電力供給可能な新規独立電源の開発と斜面崩壊研究における実証	共著	2014年11月	Kansai Geo-Symposium 2014 論文集	前田健作、山下全広、勝間洋行、北村幸太、藤本将光、深川良一	pp. 149-152	有
44	深川 良一	先行降雨を考慮した地震による斜面安定性に関する実験的考察	共著	2014年11月	Kansai Geo-Symposium 2014 論文集	田邊友章、平岡伸隆、角宏一、藤本将光、深川良一	pp. 223-226	有
45	Ryoichi FUKAGAWA	Evaluation of bedrock groundwater movement in a weathered granite hillslope using tracer methods	共著	2014年	International Journal of Erosion Control Engineering	Masamitsu FUJIMOTO, Ken' ichirou KOSUGI, Makoto TANI, Naoki BANBA, and Ryoichi FUKAGAWA	pp. 32-40	有
46	Yano K	Virtual Yamahoko Parade Experience System with Vibration Simulation	共著	2014年5月	ITE Transactions on Media Technology and Applications(2巻3号)	Li L, Choi V, Hachimura K, Yano K, Nishiura T, Tanaka HT	pp. 248-255	有
47	矢野 桂司	大学キャンパスの移転に伴う学生の居住地および通学行動の変化	共著	2014年11月	地理情報システム学会講演論文集(24巻)	桐村喬, 矢野桂司	4p. (CD-ROM)	無
48	矢野 桂司	固定資産税における路線価流れ図の作成	共著	2014年11月	地理情報システム学会講演論文集(24巻)	青木和人, 武田幸司, 矢野桂司, 中谷友樹	4p. (CD-ROM)	無
49	矢野 桂司	立命館大学アート・リサーチセンターでの大学院展開	単著	2014年12月	第20回公開シンポジウム「人文科学とデータベース」発表論文集	矢野桂司	pp. 53-54	無
50	Yano K	Japanese Surname Regions	共著	2014年	Papers in Regional Science(93巻3号)	Cheshire JA, Longley PA, Yano K, Nakaya T	pp. 539-555	有

51	矢野 桂司	立命館大学グローバル COE プログラムにおける歴史 GIS のコラボレーション	単著	2014 年	『地理』古今書院	矢野桂司	第 59 巻第 9 号 pp.49-59	無
52	矢野 桂司	地理情報システム (GIS) と地理情報科学のさらなる展開に向けて	単著	2014 年	『写真測量とリモートセンシング』日本写真測量学会	矢野桂司	第 53 巻第 6 号 pp.239	招待
53	矢野 桂司	JMOOC の準備段階における課題と期待	単著	2014 年	『大学時報』日本私立大学連盟	矢野桂司	第 63 巻第 358 号 pp.48-51	招待
54	矢野 桂司	Classifying the Japanese in the 2001 London using geodemographics	単著	2015 年	Geographical Reports of Tokyo Metropolitan University, Department of Geography, Tokyo Metropolitan University, Vol.50, March, 2015, pp.9-18	矢野桂司		無
55	Kazuyuki IZUNO	Seismic assessment of Japanese traditional wooden structure by dynamic interaction numerical analysis of surrounding ground	共著	2014 年	Journal of Natural Disaster Science(35 巻 1 号)	Hisakazu SAKAI, Kazuyuki IZUNO, Kazunari SAKO, Takahiro ENDO, Ryoichi FUKAGAWA and Kenzo TOKI	pp. 1-20	有
56	片平博文	鴨川を越えた大火ー建長元年三月二十三日の火災ー	単著	2014 年 6 月	吉越昭久編『災害の地理学』、文理閣	片平 博文	pp. 12-44	
57	川合 誠	Distributed Hybrid Localization Using Received Signal Strength and Self-Organizing Maps for Wireless Ad-hoc Networks	共著	2014 年 7 月	電気学会論文誌 C 電子・情報・システム部門誌 (134 巻 7 号)	Nyein Aye Maung Maung, Makoto Kawai	pp. 939-948	有
64	里深 好文	神聖とされている領域における地形把握手法の提案	共著	2014 年 7 月	歴史都市防災論文集, 第 8 巻	原田紹臣・山中一幸・中谷加奈・里深好文	pp. 123-130	無
63	里深 好文	地質の違いを考慮した山地溪流における河道幅の推定方法に関する研究	共著	2014 年 9 月	第 7 回土砂災害に関するシンポジウム論文集	原田紹臣・中谷加奈・里深好文・水山高久	pp. 7-12	有
62	里深 好文	土石流数値シミュレーションの一次元計算領域と二次元計算領域の設定方法の検討ー GIS と連携した HyperKANAKO システムを活用してー	共著	2014 年 9 月	自然災害科学 S01, Vol.33 特別号	中谷加奈・美土路哲也・堀内成郎・里深好文・水山高久	pp. 13-26	有
61	里深 好文	土石流先頭部における大粒子集積に影響を及ぼす要素に関する実験的研究	共著	2015 年 3 月	砂防学会誌, 第 67 巻-第 6 号	和田孝志・古谷智彦・中谷加奈・水山高久・里深好文	pp. 56-63	有
60	里深 好文	足洗谷流域ヒル谷における天然ダム決壊に関する現地実験	共著	2015 年 3 月	砂防学会誌, 第 67 巻-第 6 号	原田紹臣・赤澤史顕・速見智・柳崎剛・里深好文・藤本将光・堤大三・宮田秀介	pp. 41-48	有
59	里深 好文	家屋が存在する扇状地における土石流の挙動に関する実験的検討	共著	2015 年 3 月	砂防学会誌, 第 67 巻-第 6 号	中谷加奈・小杉恵・長谷川祐治・里深好文・水山高久	pp. 22-32	有
58	里深 好文	地形や地質の違いが天然ダムの堆積形状に与える影響	共著	2015 年 3 月	土木学会論文集 B1 (水工学), Vol.71, No.4	原田紹臣・小杉賢一朗・里深好文・水山高久	pp. I_1267-I_1272	有
65	高橋 学	環境境からみた東北地方・太平洋沖地震の津波被害	単著	2014 年 7 月	「災害の地理学」文理閣吉越昭久編	高橋 学	pp. 45-66	

66	武田 史朗	京都市「ちびっこひろば」において実施した防災イベントの評価と防災的活用における課題に関する研究	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集(8巻)	堀健太郎、武田史朗	pp. 159-164	有
67	塚口 博司	大規模地震発生直後の交通需要の推計と災害時交通マネジメントに関する一考察	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集 Vol. 8	安隆浩・孫若晨・塚口博司・小川圭一	pp. 195-202	有
68	福水 洋平	対称関係に基づくアピアランスと相対位置の拘束条件を用いた Pictorial Structure モデルにおける姿勢推定の高精度化	共著	2015年1月	画像電子学会 44巻1号	東篤司、福水洋平、泉知論、山内寛紀、梅村充一、荻内康雄、東久保政勝	pp. 67-76	有
69	Kyosuke Mukaibo	FULL-SCALE SHAKING TABLE TEST OF TRADITIONAL TIMBER STRUCTURE WITH GABLE ROOF PLACED FREE ON FOUNDATION	共著	August, 2014	Proceedings of World Conference on Timber Engineering (WCTE 2014), Quebec City, Canada	Kyosuke Mukaibo, Yoshiyuki Suzuki	Paper No. 626	有
70	向坊 恭介	木造寺院山門の階段を用いた制震補強実験	共著	2014年9月	2014年度日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿)	向坊恭介・田代靖彦・鈴木祥之	pp. 279-280	無
71	宗本 晋作	ベイジアンネットワークを用いた海の見え方に対する印象評価に基づく街路空間の確率モデルに関する研究 -宮古市 鉾ヶ崎地区を対象として-	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集 VOL.8	酒谷駿一、宗本晋作、山田悟史	pp. 217-222	有
72	宗本 晋作	自己組織化マップによる空間要素の可視化分析を用いた京都市伝統的建造物保存地区の通りの分類法に関する研究	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集 VOL.8	松井宏、宗本晋作、山田悟史	pp. 223-228	有
73	宗本 晋作	GIS を用いた津波避難計画における避難時間の可視化と関連施設の配置計画に関する研究	共著	2014年12月	情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集 第37回	山田悟史、吉川優矢、大山智基、宗本晋作		有
74	宗本 晋作	ベイジアンネットワークを用いた緑視率を指標とした緑環境評価の確率モデルに関する研究-京都市の景観を対象として-	共著	2014年12月	情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集 第37回	宗本晋作、山田悟史		有
75	宗本 晋作	自己組織化マップによる空間要素の可視化分析を用いた通りの印象評価推定法に関する研究-京都市伝統的建造物保存地区を対象として-	共著	2015年2月	日本建築学会計画系論文集	宗本晋作、山田悟史	80(708)	有
76	山崎 正史	バッファゾーン保護の考え方と清水寺参道について 京都の世界遺産バッファゾーンの景観保全に関する研究 1 (なし)	共著	2014年9月	2014年度日本建築学会全国大会(近畿)学術講演会梗概集(F-1巻)	山崎正史・矢ヶ崎善太郎・板谷直子	pp. 471-472	無
77	Masafumi YAMASAKI	CONTROL OF BUFFER ZONE OF CULTURAL MONUMENTS THROUGH INTRPRETATION OF HISTORIC LANDSCAPE (あり)	共著	2014年11月	ICOMOS General Assembly, Scientific Symposium "Heritage and Landscape as Human Values" (ICOMOS General Assembly 2014 巻 Theme 1号)	Masafumi YAMASAKI, Zentarō YAGASAKI, Naoko ITAYA, Takahiro NAKA		有
78	吉富信太	東本願寺御影堂門の立体解析モデルによる地震応答解析	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集 Vol. 8	吉富信太、栗田駿平、向坊恭介、鈴木祥之	pp. 17-24	有
79	崔 明姫	若狭地区の文化財の保存・継承の実態調査に関する研究	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集.Vol. 8	崔明姫、金玖淑、谷口仁士、冷泉為人、大前知也、鐘ヶ江秀彦	pp. 75-82	有

80	崔明姫	マップコンテストを通じた子供の防災・防犯教育への取り組み ー「第8回夏休みにみんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告ー	共著	2015年3月	京都歴史災害研究第16号	崔明姫、赤石直美、米島万有子、石田優子、金度源	pp. 27-32	有
81	石田 優子	清水寺における雨量指標を用いた斜面崩壊警戒基準に関する研究	共著	2014年7月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 (Vol.8)	石田優子、藤本将光、平岡伸隆、大矢綾香、酒匂一成、深川良一	pp. 151-158	有
82	Y.Ishida	Consideration of rainfall index for slope failure at the world heritage Kiyomizudera	共著	2014年9月	IACMAG、Proceedings of the 14th International conference of International association for computer methods and recent advances in geomechanics	Y.Ishida, M.Fujimoto, R.Fukagawa, K.Sako and T.Danjo	pp. 1345-1351	有
83	Y.Ishida	Numerical simulation of a large landslide triggered by Typhoon Talas in central Japan	共著	2014年9月	IACMAG、Proceedings of the 14th International conference of International association for computer methods and recent advances in geomechanics	M.Fujimoto, K.Kosugi, Y.Ishida, R.Fukagawa and Y.Satofuka	pp. 1797-1802	有
84	石田 優子	和歌山県伏菟野地区の地質構造と崩壊機構の検討事例	共著	2014年11月	公益社団法人地盤工学会 関西支部、地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム論文集	野並賢、鍋島康之、後誠介、谷垣勝久、矢野晴彦、石田優子	pp. 189-194	有
85	石田 優子	平成23年台風12号による和歌山県東牟婁地域における土石流災害	共著	2014年11月	公益社団法人地盤工学会 関西支部、地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム論文集	江種伸之、辻野裕之、谷垣勝久、泉並良二、矢野晴彦、加藤智久、岩瀬信行、石田優子、藤本将光、岩佐直人、後誠介	pp. 179-184	有
86	金度源	都市内の河川と河川空間の防災活用に関する基礎的研究-再整備された京都市・堀川における防災機能の調査-	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集、Vol.8	金度源・大窪健之	pp. 303-310	無
87	金度源	高山市三町、下二之町大新町重要伝統的建造物群保存地区における防災対策の現状調査	共著	2014年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	金度源・大窪健之	pp. 87-88	無
88	Dowon Kim	Conservation of the fire fighting water supply system "Honganji-Water Pipelines": Restoration for practical utilizing of the fire disaster mitigating cultural heritage	共著	2014年10月	Cultural HELP 2014	Dowon Kim, Takeyuki Okubo	pp. 85-94	有
89	Mayuko Yonejima	Retrospective search for dengue vector mosquito Aedes albopictus in areas visited by a German traveler who contracted dengue in Japan	共著	2014年7月	International Society for Infectious Diseases、International Journal of Infectious Diseases 26	Mutsuo Kobayashi, Osamu Komagata, Mayuko Yonejima, Yoshihide Maekawa, Kimio Hirabayashi, Toshihiko Hayashi, Naoko Nihei, Masahiro Yoshida, Yoshio Tsuda and Kyoko Sawabe	pp. 135-137	有

90	米島 万有子	京都府南丹市におけるアライグマの社寺侵入被害の空間分析	共著	2014年 11月	地理情報システム学会、 地理情報システム学会講 演論文集 23	米島万有子・中 谷友樹・川道美 枝子・今村 聡・ 山本憲一	CD-ROM (4頁)	無
91	米島 万有子	土地被覆データにもとづく疾 病媒介蚊の生息分布域の分析 —琵琶湖東沿岸地域を対象に —	共著	2015年3 月	日本地理学会、地理学評 論 88-2	米島万有子・中 谷友樹・渡辺 護・二瓶直子・ 津田良夫・小林 睦生	pp.138- 158	有
92	谷端 郷	京都府亀岡市篠町における 2013年台風18号水害の地理 的特徴	共著	2014年7 月	歴史都市防災論文集(8巻)	村中亮夫・谷端 郷・中谷友樹	pp. 287- 294	無
93	赤澤 史顕	天然ダムの越流侵食過程に関 する二次元シミュレーション	共著	2014年5 月	砂防学会誌, 第67巻-第1 号	赤澤史顕・里深 好文	pp. 28-34	有
94	F. AKAZAWA	Numerical Simulation of Landslide Dam Deformation by Overtopping Flow	共著	2014年 12月	International Journal of Erosion Control Engineering Vol.7, No.3,	F. AKAZAWA SATOFUKA	pp. 85-91	有
95	Nyein Aye Maung Maung	Experimental Evaluations of RSS Threshold-Based Optimized DV-HOP Localization for Wireless Ad- Hoc Networks	共著	2014年8 月	ELECTRONICS LETTERS(50巻17号)	Nyein Aye Maung Maung, Makoto Kawai	pp. 1246- 1248	有
96	Nyein Aye Maung Maung	Distributed hybrid localization using RSS threshold based connectivity information and iterative location update	共著	2015年1 月	International Journal of Distributed Sensor Networks(Vol. 2015, Article ID 525301)	Nyein Aye Maung Maung, Makoto Kawai	pp. 1-8	有
97	本多 彩夏	農地炭素貯留から派生する環 境保全型ブランド野菜の受容 可能性—消費者の価値評価の 計量分析	共著	2014年	創地共望—立命館大学地 域情報研究センター紀要(3 巻)	田藤裕祐、本多 彩夏、柴田晃、 鐘ヶ江秀彦	pp. 39-49	無
98	酒井 宏平	姫路城における観光客の避難 行動パターンに関する研究-多 基準意思決定にもとづいた意 識調査を事例として-	共著	2014年7 月	歴史都市防災論文集(8巻)	酒井宏平、本多 彩夏、Siriluk Mongkonkerd、 豊田祐輔、谷口 仁土、鐘ヶ江秀 彦	pp. 189- 194	有
99	河角 (赤石) 直美	「京都市明細図」の記載内容 に関する一考察	共著	2014年	立命館地理学(26号)	赤石直美・瀬戸 寿一・福島幸 宏・矢野桂司	pp. 73-89	有
100	河角 (赤石) 直美	『京都市明細図』と京都市の 都市計画履歴	共著	2014年 11月	地理情報システム学会講 演論文集(24巻)	赤石直美、瀬戸 寿一、福島幸宏、矢 野桂司	4p. (CD- ROM)	無
101	村上 晴澄	近藤豊写真資料のデジタルア ーカイブ構築と過去の景観	共著	2014年 11月	立命館地理学(26巻)	村上晴澄・佐藤 弘隆・矢野桂 司・福島幸宏・ 土橋誠	pp. 35-46	無
102	大矢 綾香	生石灰と珪砂配合比と養生 期間が改良土の力学特性に与 える影響	共著	2014年7 月	歴史都市防災論文集(8巻)	大矢綾香、奥本 龍馬、藤本将 光、深川良一、 李徳河	pp. 139- 144	有
103	Siriluk Mongkonkerd	Influence of Preparedness Measures on Re-Opening Time for Households' Businesses after 2011Thai Flood: A Case of Sai Mai District in Bangkok Metropolitan Administration	共著	2014年7 月	Journal of Disaster Mitigation for Historical Cities. Vol. 8	Siriluk Mongkonkerd, Sachi Perera, Kohei Sakai, Mingji Cui, Yusuke Toyoda and Hidehiko Kanegae	pp. 107- 114	有
104	稲村 雄一郎	ハザードマップの記載内容に 関する傾向分析～平成 25 年度における日本全国の市町村 を対象として～	共著	2014年5 月	地域安全学会梗概集、No. 34, 地域安全学会	稲村雄一郎・大 窪健之・金度源	pp. 129- 132	無
105	国島岳大	津波避難ビルにおける避難生 活支援の課題と改善策に関す	共著	2014年5 月	地域安全学会大会研究発 表会 (春季), A-2	国島岳大、大窪 健之、金度源、	pp. 5-8	無

		る一考察 ～宮城県沿岸自治体に属する津波避難ビルを対象として～				林倫子		
106	宮田雄大	地区防災計画の実施状況評価と防災活動推進のためのワークショップ実施について～与謝野町加悦重伝建地区を対象に	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集、Vol.8	宮田雄大・大窪健之・金度源	pp. 295-302	無
107	棚橋 秀光	飛騨高山の伝統木造仕口の性能検証実験	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集 Vol.8	棚橋 秀光、大岡優、向坊恭介、鈴木祥之	pp. 1-8	有
108	棚橋 秀光	水平加力実験による飾り組子欄間の構造性能	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集 Vol.8	須田達、棚橋秀光、中村友輔、鈴木祥之	pp. 33-40	有
109	棚橋 秀光	伝統的な飾り組子欄間の静的水平加力実験による構造特性	共著	2014年9月	2014年度日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿)	須田達・中村友輔・棚橋秀光・鈴木祥之	pp. 235-236	無
110	棚橋 秀光	銕合の甘さがほぞ接合部の力学挙動に及ぼす影響	共著	2014年9月	2014年度日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿)	小川敬多・佐々木康寿・山崎真理子・棚橋秀光・大岡優・鈴木祥之	pp. 463-464	無
111	棚橋 秀光	飛騨高山の伝統構法木造建築物の耐震性能評価 その1 古材・新材の材料特性	共著	2014年9月	2014年度日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿)	大岡優・棚橋秀光・向坊恭介・鈴木祥之	pp. 467-468	無
112	棚橋 秀光	飛騨高山の伝統構法木造建築物の耐震性能評価 その2 古材・新材仕口の復元力特性	共著	2014年9月	2014年度日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿)	棚橋秀光・大岡優・向坊恭介・鈴木祥之	pp. 469-470	無
113	棚橋 秀光	伝統的構法の楔の復元力特性に及ぼす効果	共著	2014年12月	第14回日本地震工学シンポジウム	棚橋秀光、大岡優、鈴木祥之	pp. 1673-1682	有
114	Shakya Lata	歴史都市バタンにおける1934年大震災後の避難生活の実態	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集 vol.8	サキヤ・ラタ、大窪健之	pp. 203-210	有
115	Shakya Lata	ネパール、バタン旧市街地の中庭型集住体における1934年大震災後の避難生活の実態	共著	2014年9月	日本建築学会大会(関西)学術講演梗概集、日本建築学会	サキヤ・ラタ、大窪健之	pp. 1085-1086	

(3). 研究発表等

No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	大窪 健之	南海トラフ地震時に一時避難場所となる社寺の実態と避難所転用の際の課題～高知県沿岸部の黒潮町を対象として～	2014年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会@大阪工業技術専門学校	金度源
2	大窪 健之	招待講演：文化財所有者連合会・講演	2014年7月	京都府教育委員会、ルビノ堀川	
3	大窪 健之	清水寺周辺地域における歴史防災まちづくりのための特殊講義	2014年8月	夏期集中講義	
4	大窪 健之	招待講演「阪神・淡路大震災の火災被害とその後の減災への取組み」	2014年10月	阪神・淡路大震災 20年地震防災フォーラム@マイドームおおさか、土木学会関西支部・地盤工学会関西支部共催	
5	大窪 健之	講演「東日本大震災に学ぶ「駆け込み寺」という知恵」	2014年12月	立命館大学土曜講座、立命館大学末川記念館	
6	中谷 友樹	Detection of Space-Time Crime Patterns for Predictive Policing	2014年4月8日	Annual meeting of the Associations of American Geographers	Monsuru Adepeju, Tao Cheng
7	中谷 友樹	山間地域独居高齢者の食料品の買い物の困難さと満足度に関わる社会経済的要因	2014年5月27日	第84回日本衛生学会学術総会	福田吉治・林辰美・村山伸子・石川みどり・横山徹爾・草間かおる・武見ゆかり
8	中谷 友樹	健康の社会的決定因としての地理的環境	2014年8月8日	公衆衛生セミナー：日本における健康の社会決定要因	
9	中谷 友樹	感染症の空間的伝播とそのモデル	2014年8月10日	感染症数理モデルによる流行データ分析と問題解決	

10	Nakaya T	Visualising Emerging Trends of Clusters in a Space-Time Region Using Spatio-Temporal Kernel Regression	2014年9月26日	GIScience 2014	Haworth J, Cheng T
11	中谷 友樹	全国レベルでみた近隣と健康 (2) —地理的剥奪と主観的健康感	2014年11月6日	第73回日本公衆衛生学会総会	埴淵知哉・米島万有子・本庄かおり
12	中谷 友樹	山間地域における独居高齢者の食料品入手とフードセキュリティの関連要因	2014年11月6日	第73回日本公衆衛生学会総会	福田吉治・林辰美・村山伸子・石川みどり・横山徹爾・草間かおる・武見ゆかり
13	中谷 友樹	埼玉県2市町在住独居高齢者の食料品店への近接性と食生活状況との関連	2014年11月6日	第73回日本公衆衛生学会総会	吉葉かおり・武見ゆかり・村山伸子・石川みどり・横山徹爾
14	Nakaya T	Estimates of HIV-infected individuals in Japan	2014年11月7日	第73回日本公衆衛生学会総会	Nishiura H and Kakehashi M
15	中谷 友樹	健康の社会格差と地域格差	2015年3月29日	日本地理学会2015年春季学術大会	埴淵知哉
16	板谷 (牛谷) 直子	宮城県南三陸町の被災した文化遺産の現状と復興の課題	2014年7月	歴史都市防災シンポジウム	ロヒト・ジグヤス・中谷友樹
17	Naoko Itaya Ushitani	Policies for Disaster Risk Management of Cultural Heritage in Japan	2014年8月	Workshop on Disaster Risk Management of Cultural Heritage in Myanmar	
18	板谷 (牛谷) 直子	宮城県南三陸町志津川の祭礼にみる記憶地図調査	2015年3月	第3回国連防災世界会議 パブリックフォーラム 歴史都市防災シンポジウム仙台 東日本大震災に学ぶ 歴史都市防災まちづくりに向けて	
19	小川 圭一	歴史都市における観光客のための避難経路の抽出方法に関する研究 ～京都市東山区を対象として～	2014年7月	第8回歴史都市防災シンポジウム	前川貴哉, 松野真樹, 塚口博司, 安隆浩
20	小川 圭一	大規模地震発生直後の交通需要の推計と災害時交通マネジメントに関する一考察	2014年7月	第8回歴史都市防災シンポジウム	安隆浩, 孫若晨, 塚口博司
21	河角 龍典	3次元デジタル地図で見る平安京の三山と街づくり」京都伝統文化の森推進協議会文化的価値発信事業	2014年6月	第10回公開セミナー「観光都市京都・三山の魅力を探る」	
22	河角 龍典	GISを用いた遺構情報のデジタルアーカイブと地理的分析—平城京を事例として—	2014年7月	日本文化財科学会 第31回大会, 奈良教育大学.	
23	河角 龍典	法勝寺八角九重塔の支持地盤	2014年7月	日本文化財科学会 第31回大会, 奈良教育大学	小野映介・柏田有香
24	河角 龍典	京都盆地における始良 Tn火山灰の堆積状況.	2014年9月	日本地理学会秋季大会, 富山大学	小野映介・藤根久
25	河角 龍典	GIS でみる平安京のまちづくり」	2014年10月	GIS Day in 関西 2014	
26	河角 龍典	珪藻分析を用いた伊勢平野中部における完新世中期以降の古環境復元.	2014年11月	日本珪藻学会第34回研究集会, 滋賀県立琵琶湖博物館.	佐藤善輝・小野映介
27	河角 龍典	「都市史研究とジオアーケオロジー—古代日本における都市開発と微地形」	2014年12月	日本建築学会 建築歴史・意匠委員会都市史小委員会 シンポジウム都市史研究の最前線「都市と台地」シリーズ, 第1回『都市史の基層としての大地・地面・土地を考える』	
28	河角 龍典	2014年度都市史学会大会記念シンポジウム 都市史の現在II,	2014年12月	全体討論コメントとリブライ, 京都工芸繊維大学	
29	河角 龍典	徳島県撫養地区における塩田開発と1596年慶長伏見地震の関連性.	2015年3月	日本地理学会春季大会, 日本大学	小野映介・矢田俊文・海津 颯

30	豊田 祐輔	Community Evacuation Experience for University Students by EVACUATION SIMULATION TRAINING	2014年4月	Proceedings of the 6th Annual International ThaiSim Conference “Learning with simulations and games: Learning methods for the AEC”	
31	Yusuke Toyoda	Community disaster mitigation cases in Japan toward resilient community strategies	2014年5月	10th World Congress of the RSAI (Regional Science Association International)	Kanegae Hidehiko
32	Yusuke Toyoda	Gaming Simulation for Community-based Disaster Reduction	2014年7月	The 45th ISAGA conference	Hidehiko Kanegae, Kohei Sakai
33	豊田 祐輔	2011年アユタヤ洪水におけるコミュニティ・レジリエンス	2014年10月	日本地域学会第51回年次大会	
34	Toyoda Yusuke	Developing Model of University-Community Collaborative Information Management for Evacuation Preparedness (Three-Years JSPS Project: Some Academic Findings from Japanese Side)	2015年2月	International Symposium on Disaster Management: Creating A Sustainable Future Through Research And Students Collaboration Of Indonesia And Japan	Sakai Kohei, Cui Mingji and Kanegae Hidehiko
35	矢野 桂司	コンピュータグラフィックで蘇る大船鉾巡行風景	2014年6月	大船鉾復興記念フォーラム	
36	矢野 桂司	ジオデモグラフィックスとは何か?	2014年7月	空間解析・ジオデモグラフィックシンポジウム	
37	矢野 桂司	デジタル・ヒューマニティーズとバーチャル京都	2014年7月	空間情報シンポジウム2014	
38	矢野 桂司	立命館大学文学研究科文化情報学専修のプロジェクト概要「デジタル技術が生み出す 新たな文化効果」	2014年7月	立命館大学文学研究科文化情報学専修2014年度連続講演会第2回	
39	矢野 桂司	大学教育におけるGIS教育の推進の必要性「学校教育にもとめられるオープンデータを活用できる人材育成ー日本学術会議提言：地理教育におけるオープンデータの利活用と地図力 /GIS技能の育成を踏まえて-	2014年8月	日本学術会議 地域研究委員会・地球惑星委員会合同 地理教育分科会	
40	矢野 桂司	デジタル地図を読む	2014年9月	立命館大学土曜講座 (『地図を読む』)	
41	矢野 桂司	大学キャンパスの移転に伴う学生の居住地および通学行動の変化	2014年11月	第23回学術研究発表大会	桐村喬
42	矢野 桂司	東日本大震災・阪神淡路大震災等の経験を国際的にどう活かすか	2014年11月	日本学術会議主催学術フォーラム	
43	矢野 桂司	文化・歴史・地理空間情報を活用した地域研究の展開	2014年12月	立命館地理学会	
44	矢野 桂司	パネル・ディスカッション: 「文化情報学とデータベース」	2014年12月	第20回公開シンポジウム「人文科学とデータベース」	
45	矢野 桂司	3D-GIS で歴史都市京都をアーカイブする	2015年2月23日	GIS学会四国支部, 徳島大学, 徳島	
46	Keiji Yano	Graduate Program of Digital Humanities for Japanese Arts and Cultures, Graduate School of Letters, Ritsumeikan University	Friday, March 6, 2015	Digital Humanities Workshop, Columbia University,	Keiko Suzuki
47	Keiji Yano	Digital Museum Project (GIS, motion capture,	Friday, March 6, 2015	Digital Humanities Workshop, Columbia University,	Keiji Yano

		Gion Festival, information technology)			
48	吉越 昭久	鴨川の「寛文新堤」の機能と効果	2014年9月	一般社団法人京都市防災協会 災害に強いまちづくり講座 II 歴史災害から学ぶ 平成26年度講演	
49	青柳 憲昌	「守山宿の街並みと町家建築」	2014年5月	守山宿歴史塾	
50	青柳 憲昌	「旧奈良街道沿いの醍醐寺門前集落の形成過程と民家の形式」	2015年2月6日	第4回世界遺産「古都京都の文化財」ネットワーク会議	
51	泉 知論	Impulse 高位合成系によるBlokus 対戦アルゴリズムの設計事例	2014年6月	電子情報通信学会リコンフィギャラブルシステム研究会 RECONF2014-9	河合遼
52	泉 知論	○×ゲームを解く再帰関数の高位合成向け記述変換の試行	2014年9月	電子情報通信学会 リコンフィギャラブルシステム研究会 RECONF2014-32	大野真史, 中原優, 孟林
53	Tomonori Izumi	BLUE STORM-Blokus Unified Engine of Search and Test Operation by RitsuMei	2014年12月	the 2014 International Conference of Field-Programmable Technology (ICFPT2014)	Masashi Ohno, Yuu Nakahara, Kazuya Ohtsu, Tatsuya Suzuki and Meng Lin
54	泉 知論	同期FIFOのFPGAベンダ非依存記述と高速化設計	2015年1月	電子情報通信学会リコンフィギャラブルシステム研究会 RECONF2014-80	
55	泉 知論	推論の木探索アルゴリズムのFPGA実装	2015年3月	電子情報通信学会 総合大会 D-18-4	大野真史, 鈴木達也, 大津和也, 中原優, 孟林
56	Kazuyuki Izuno	Seismic performance of aged and deteriorated wooden joints of Japanese traditional timber structures	2014年8月	The 2014 World Conference on Timber Engineering	Yu Ooka, Kazuyuki Izuno, Hideaki Tanahashi and Yoshiyuki Suzuki
59	川合 誠	スマートホームにおけるサービス連動型ホームオートメーションシステムの設計	2015年3月	電子情報通信学会総合大会	渡邊一貴, 野口拓
60	川合 誠	VANETを利用したiOSデバイスによる車両可視化システム	2015年3月	電子情報通信学会総合大会	田中直樹, 野口拓
61	川合 誠	アドホックネットワークにおけるACK棄却攻撃に対する防御方式	2015年3月	電子情報通信学会総合大会	尾崎史洗, 野口拓
62	向坊 恭介	名古屋市有松地区における栗田家住宅の実測調査報告-伝統的居住文化の維持・保全と観光開発の共生に関する研究 その17-	2014年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集2014	北山めぐみ, 藤木庸介, 平尾和洋, 宗本晋作, 山田悟史
63	向坊 恭介	名古屋市有松地区における竹田家住宅の実測調査報告-伝統的居住文化の維持・保全と観光開発の共生に関する研究 その16-	2014年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集2014	藤木庸介, 北山めぐみ, 平尾和洋, 宗本晋作, 山田悟史
64	山内 寛紀	骨格画像に基づく適応的フィルタを組み込んだブラインドデコンボリューションによる量子化ノイズ低減手法	2015年2月	電子情報通信学会 技術研究報告 2015年2月	三輪卓矢, 泉知論, 齊藤和則, 福水洋平
65	Masafumi YAMASAKI	CONTROL OF BUFFER ZONE OF CULTURAL MONUMENTS THROUGH INTRPRETATION OF HISTORIC LANDSCAPE	2014年11月	ICOMOS General Assembly, Scientific Symposium	Zentaro YAGASAKI, Naoko ITAYA, Takahiro NAKA
66	吉富 信太	「木造建築物に適用可能なシステム同定に関する基礎的研究」	2014年	日本建築学会近畿支部研究発表会	田中陽之
67	崔 明姫	2011年タイ洪水による世界遺産アユタヤの経済的被害に関する調査研究	2014年5月	第34回(2014年度)地域安全学会研究発表会(春季)	豊田祐輔, 酒井宏平, 谷口仁士, 鐘ヶ江秀彦
68	崔 明姫	Metrical Analyses on Population and Economic	2014年5月	REAL CORP 2014: 19th International Conference on Urban Planning and	Toshiyuki Kaneda, Meiyong Tian, Yang Wang, Renbao Jin

		Growth and Urban 'Quality Of Life' of Metropolitan Cities in China during the 00s		Regional Development in the Information Society	
69	崔 明姫	雅安地震における伝統的集落の被害調査：雅安望魚古鎮を事例として	2014年7月	第8回歴史都市防災シンポジウム	劉鴻涛、谷口仁士
70	崔 明姫	A Study on Economic Damage for Tourism in Kyoto City by Earthquake Disaster	2014年9月	International Academic Conference on Tourism and Disaster (2014)	Qinglin Cui, Yusuke Toyoda and Hidehiko Kanegae
71	崔 明姫	少子高齢化社会を見据えた地震防災問題	2014年9月	第33回自然災害学会学術講演会	谷口仁士、豊田祐輔
72	崔 明姫	将来人口予測に基づいた沿岸部都市における地震・津波災害リスクの経済的評価	2014年10月	日本地域学会第51回年次大会	谷口仁士
73	Cui Mingji	Research Exchange Report on JSPS Joint Research Project between Gadjah Mada University and Ritsumeikan University: Developing Model of University-Community Collaborative Information Management for Evacuation Preparedness in Tourism Destinations	2015年2月	International Symposium on Disaster Management: Creating A Sustainable Future Through Research And Students Collaboration Of Indonesia And Japan	Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko
74	Mingji Cui	Economic Damage and Recovery Process of a Historic City	2015年3月	Booth Exhibitions of Institute of Disaster Mitigation for Urban Cultural Heritage, Ritsumeikan University, Public Forum of Sendai Committee for the UN World Conference on Disaster Risk Reduction	
75	石田 優子	那智川水系の小流域における変状地の地形地質的特徴	2014年5月	平成26年度砂防学会研究発表会	藤本将光, 江種伸之, 深川良一
76	石田 優子	清水寺における雨量指標を用いた斜面崩壊警戒基準に関する研究	2014年7月	歴史都市防災シンポジウム	藤本将光, 平岡伸隆, 大矢綾香, 酒匂一成, 深川良一
77	石田 優子	熊野那智大社土石流の源頭崩壊地における地質構造と崩壊に関する考察	2014年7月	第49回地盤工学研究発表会	後誠介, 藤本将光, 江種伸之, 深川良一
78	石田 優子	平成23号台風12号による熊野那智大社裏山における大規模斜面崩壊の再現計算に関する研究	2014年7月	第49回地盤工学研究発表会	藤本将光, 小杉賢一朗, 里深好文, 深川良一
79	石田 優子	和歌山県伏菟野地区における大規模崩壊地の地質と崩壊に関する考察	2014年7月	第49回地盤工学研究発表会	鍋島康之, 野並賢, 後誠介, 谷垣勝久, 矢野晴彦
80	石田 優子	和歌山県伏菟野地区で発生した大規模崩壊箇所における透水、強度特性の検討事例	2014年7月	第49回地盤工学研究発表会	野並賢, 鍋島康之, 後誠介, 谷垣勝久, 矢野晴彦
81	石田 優子	平成23号台風12号による新宮市南松杖と相賀における土石流災害	2014年7月	第49回地盤工学研究発表会	加藤智久, 岩瀬信行, 矢野晴彦, 江種伸之
82	石田 優子	Consideration of rainfall index for slope failure at the world heritage Kiyomizu-dera	2014年9月	International conference of International association for computer methods and recent advances in geomechanics	Masamitsu Fujimoto, Ryoichi Fukagawa, Kazunari Sako and Toru Danjo
83	Yuko Ishida	Numerical simulation of a large landslide triggered by Typhoon Talas in central Japan	2014年9月	International conference of International association for computer methods and recent advances in geomechanics	Masamitsu Fujimoto, Ken-ichi Kosugi, Ryoichi Fuka-gawa and Yoshifumi Satofuka

84	石田 優子	和歌山県伏菟野地区の地質構造と崩壊機構の検討事例	2014年11月	地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム	野並賢, 鍋島康之, 後誠介, 谷垣勝久, 矢野晴彦
85	石田 優子	平成23年台風12号による和歌山県東牟婁地域における土石流災害	2014年11月	地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム	江種伸之, 辻野裕之, 谷垣勝久, 泉並良二, 矢野晴彦, 加藤智久, 岩瀬信行, 藤本将光, 岩佐直人, 後誠介
86	金 度源	市民消火栓の日常利用促進のための操作性改善と利用方法の検討～京都市清水寺地域の住民による評価を通して～	2014年5月	第34回地域安全学会研究発表会(春季) @人と防災未来センター	塩浜裕紀
87	金 度源	都市内の河川と河川空間の防災活用に関する基礎的研究-再整備された京都市・堀川における防災機能の調査-	2014年7月	第8回歴史都市防災シンポジウム@立命館大学衣笠キャンパス	
88	金 度源	高山市三町、下二之町大新町重要伝統的建造物群保存地区における防災対策の現状調査	2014年9月	日本建築学会大会@神戸大学	
89	金 度源	Conservation of the fire fighting water supply system "Honganji-Water Pipelines": Restoration for practical utilizing of the fire disaster mitigating cultural heritage	2014年10月	Cultural HELP 2014@Porto Portugal	
90	Dowon Kim	Practical Using of Disaster Mitigation Assets in Historical City Kyoto, Japan: The Disaster Mitigating Plan by Utilization of The Honganji-Water Pipelines and The Abandoned Green Belt Zone.	2015年1月	The Tokyo Conference on International Study for Disaster Risk Reduction and Resilience@Tokyo University	Yuko Ishida, Mingji Cui, and Mayuko Yonejima
91	Kim Dowon	Practical using of disaster mitigation assets in historical city Kyoto, Japan: The disaster mitigating plan by utilization of the Honganji-water pipelines and the abandoned green belt zone	2015年3月	Sendai Committee for the Third UN World Conference on Disaster Risk Reduction	Ishida Yuko., Cui Mingji. and Yonejima Mayuko
92	米島 万有子	二条城堀の蚊の発生問題にみる歴史的景観「堀」に対する住民意識	2014年9月	2014年日本地理学会秋季学術学会	
93	米島 万有子	京都府南丹市におけるアライグマの社寺侵入被害の空間分析	2014年11月	地理情報システム学会第23回研究発表大会	中谷友樹・川道美枝子・今村 聡・山本憲一
94	米島 万有子	アライグマによる社寺侵入被害の空間分析	2015年3月	アライグマセミナー1	中谷友樹・川道美枝子・今村 聡・山本憲一
95	Yonejima Mayuko	Students' consciousness and behavior of an earthquake disaster prevention	2015年3月	Sendai Committee for the Third UN World Conference on Disaster Risk Reduction	Fukuda Kazufumi, Nakaya Tomoki and Hosoi Koichi
96	米島 万有子	地震災害に対する学生の防災意識と行動	2015年3月	2015年日本地理学会春季学術学会	福田一史・中谷友樹・細井浩一
97	米島 万有子	蚊媒介性感染症の流行リスクの把握—滋賀県琵琶湖東沿岸地域を事例に—	2015年3月	2015年日本地理学会春季学術学会 健康地理研究グループ集会	
98	谷端 郷	京都府亀岡市篠町における2013年台風18号水害の地理的特徴	2014年7月5日	第8回歴史都市防災シンポジウム	村中亮夫・中谷友樹

57	Nyein Aye Maung Maung	Improved DV-HOP Based Localization Scheme Using Iterative Learning with RSS Threshold	2014年5月	電子情報通信学会無線通信システム研究会	Makoto Kawai
58	Nyein Aye Maung Maung	Performance Improvement of Connectivity-Based Localization Using Iterative Learning	2014年6月	International Conference on Localization and GNSS	Makoto Kawai
99	Nyein Aye Maung Maung	Wireless Sensor Network Based Mobile Tracking System	2015年2月	International Conference on Information Technology	Makoto Kawai
100	Nyein Aye Maung Maung,	Resource-Efficient Mobile Target Tracking in Wireless Sensor Networks	2015年3月	電子情報通信学会総合大会	Makoto Kawai
101	Sakai Kohei	A Study on Evacuation Simulation for Guiding Tourists in Himeji Castle Based on a Survey of Tourists' Intention in Evacuation after Earthquake	2014年9月	INTACT2014 International Academic Conference on Tourism "Tourism and Disaster: Managing Tourism in Disaster Risk Areas" Abstract	Honda Ayaka, Mongkongkerd Siriluk, Perera Sachi, Cui Sachi, Toyoda Yusuke, Taniguchi Hitoshi and Kanegae Hidehiko
102	酒井 宏平	エージェントシミュレーシ ョンによる姫路城の観光経 路に着目した避難誘導に関 する研究	2014年10月	日本地域学会第51回全国大会	鐘ヶ江秀彦
103	Sakai Kohei	A study on effectiveness of problem based learning from the viewpoint of legitimate peripheral participation	2014年11月	The 5th International Conference on Sustainable Future for Human Security-SUSTAIN 2014	Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko
104	Sakai Kohei	Managing Personal Information by a Local Community for Support of Elderly People in Disaster Emergency Response: From the Viewpoint of Willingness to Share Information	2015年2月	International Symposium on Disaster Management: Creating A Sustainable Future Through Research And Students Collaboration Of Indonesia And Japan	Pakdeeburee Panpathu, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko
105	赤石 直美	『京都市明細図』と京都市 の都市計画履歴	2014年11月	第23回学術研究発表大会	瀬戸寿一, 福島幸宏, 矢野桂司
106	永田 彰平	新型インフルエンザ流行の 空間的伝播モデリング: 茨 城県における公立小中学校 の閉鎖措置実施データを用 いて,	2015年3月28 日	日本地理学会 2015年春季学術大会	中谷友樹
107	永田 彰平	2010~2013年における 徒 歩フードアクセスの喪失 地区	2015年3月28 -29日	日本地理学会 2015年春季学術大会	中谷友樹・矢野桂司・秋山祐樹
108	稲村 雄一郎	ハザードマップの記載内容 に関する傾向分析~平成 25年度における日本全国 の市町村を対象として~	2014年5月	第34回地域安全学会研究発表会(春 季) @人と防災未来センター	金度源
109	国島 岳大	津波避難ビルにおける避難 生活支援の課題と改善策に 関する一考察~宮城県沿岸 自治体に属する津波避難ビ ルを対象として~	2014年5月	第34回地域安全学会研究発表会(春 季) @人と防災未来センター	金度源
110	宮田 雄大	地区防災計画の実施状況評 価と防災活動推進のための ワークショップ実施につい て~与謝野町加悦重伝建地 区を対象に	2014年7月	第8回歴史都市防災シンポジウム@立 命館大学衣笠キャンパス	金度源
111	前田 一馬	「記憶地図」を活用した被 災地における地域文化の継	2015年3月28 -29日	日本地理学会 2015年春季学術大会	谷端 郷・中谷友樹・板谷直子・平岡善 浩

		承に向けて 一南三陸町志津川地区における地域の祭礼を事例として一			
112	青木 和人	固定資産税における路線価格流れ図の作成	2014年11月	第23回学術研究発表大会	武田幸司, 矢野桂司, 中谷友樹
113	埴淵 知哉	全国レベルでみた近隣と健康 (1) 一ウォーカービリティと身体活動	2014年11月6日	第73回日本公衆衛生学会総会	中谷友樹・米島万有子・本庄かおり

(4). 主催したシンポジウム・研究会等

No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	第8回歴史都市防災シンポジウム	衣笠キャンパス	2014年7月	117名	
2	立命館大学ユネスコ・チェア「文化遺産と危機管理」国際研修2014	衣笠キャンパス、清水寺、仁和寺、産寧坂、南三陸、神戸	歴史都市防災研究所、清水寺 仁和寺 産寧坂 南三陸 神戸	70名	
3	GIS Day in 関西2014	衣笠キャンパス	2014年10月	70名	共催：人文地理学会、立命館大学アート・リサーチセンター、立命館大学文学部地理学教室 後援：日本地理学会、地理情報システム学会、GIS NEXT
4	第8回地域の安全安心マップコンテスト	衣笠キャンパス	2014年8月～10月	75名	協賛：NTT 西日本京都支店、株式会社パスコ、日本ミックニヤ株式会社、F レンタリース株式会社、株式会社帝国書院 後援：国土地理院、コクヨマーケティング株式会社、京都新聞社、KBS 京都、京都市、公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター、人文地理学会、立命館地理学会、NPO 災害から文化財を守る会
5	第1回定例研究会	びわこ・くさつキャンパス	2014年4月	30名	
6	第2回定例研究会	キャンパスプラザ京都	2014年5月	29名	
7	第3回定例研究会	キャンパスプラザ京都	2014年6月	29名	
8	第4回定例研究会	キャンパスプラザ京都	2014年10月	25名	
9	第5回定例研究会	キャンパスプラザ京都	2014年11月	20名	
10	第6回定例研究会	キャンパスプラザ京都	2015年1月	30名	
11	第7回定例研究会	キャンパスプラザ京都	2015年3月	28名	
12	タイ・チュラロンコーン大学共同ワークショップ	衣笠キャンパス	2014年4月	35名	
13	インドネシア政府防災研修	衣笠キャンパス等	2014年11月	25名	
14	立命館大学・タマサート大学共同ワークショップ	衣笠キャンパス	2014年12月	50名	
15	アライグマ・セミナー2015	中央大学	2015年3月	—	共催：関西野生生物研究所
16	第4回公開セミナー「京都歴史災害研究会」	衣笠キャンパス	2015年3月	15名	
17	第3回国連防災世界会議パブリック・フォーラム歴史都市防災シンポジウム仙台	AER 情報産業プラザ	2015年3月	60名	

(5). その他研究活動（報道発表や講演会等）

No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1	大窪 健之	文化遺産災害対策小委員会・委員, 日本建築学会歴史意匠委員会		2007年～2009年度, 2013年度～
2	大窪 健之	「土木」夢づくり懇談会・委員		2010年度～

3	大窪 健之	明日の京都 文化遺産プラットフォーム 第六部会・委員長		2010年度～
4	大窪 健之	京都府与謝野町「与謝野町加悦重要伝統的建造物群保存地区・防災事業検討会議」委員		2012年度～
5	大窪 健之	奈良県奈良市「奈良国際文化観光都市建設審議会」委員		2012年度～
6	大窪 健之	奈良県奈良市「奈良市都市マスタープラン見直し検討委員会」副委員長		2012年度～
7	大窪 健之	立命館大学「歴史都市防災研究所」所長		2013年度～
8	大窪 健之	京都府建築士会・理事		2013年度～
9	大窪 健之	愛媛県松山市「史跡松山城跡整備検討委員会」専門委員		2013年度～
10	大窪 健之	滋賀県「滋賀県東北部都市計画区域の見直し検討会」座長		2014年度～
11	大窪 健之	愛媛県松山市「道後温泉本館保存修復専門委員会」委員		2014年度～
12	大窪 健之	奈良県奈良市「奈良 IC(仮称)周辺まちづくり委員会」委員長		2014年度～2015年度
13	大窪 健之	京都府京都市「京都市建築物安心安全実施計画推進会議」委員		2013年度～
14	大窪 健之	京都府「京都府住宅審議会」委員		2014年度～
15	大窪 健之	NPO 法人「あすの夢土木」理事		2014年9月～
16	大窪 健之	防災科学技術研究所「第5回防災コンテスト」審査委員		2014年度
17	大窪 健之	手づくり発電水車講演	京北第二小学校(京都市)	2014年7月9日、16日
18	大窪 健之	ミャンマー地域防災研修講師	ピュー(ミャンマー)	2014年8月15日～16日
19	大窪 健之	プレスセミナー	立命館大学 東京キャンパス	2014年8月25日
20	大窪 健之	福住地区防災勉強会	福住公民館、兵庫県篠山市	2014年8月31日
21	大窪 健之	加悦地区防災勉強会	加悦公民館、京都府加悦町	2014年9月7日
22	大窪 健之	JICA 研修「歴史都市の保全・防災と文化観光の活用」	立命館大学 朱雀キャンパス	2014年9月8日
23	大窪 健之	淡海生涯カレッジ	立命館大学びわこ・くさつキャンパス	2014年9月20日
24	大窪 健之	パタン地区防災ワークショップ	カトマンズ(ネパール)	2014年9月27日
25	大窪 健之	福住地区防災まちあるき	兵庫県篠山市	2014年10月19日
26	大窪 健之	インドネシア研修	立命館大学 歴史都市防災研究所	2014年11月6日
27	大窪 健之	加悦地区防災まちあるき	京都府加悦町	2014年11月23日
28	鈴木 祥之	講演「文化財建造物の耐震改修に向けて	主催:(社)全国国宝重要文化財所有者連盟	2014年6月
29	鈴木 祥之	講演「町家に住みつづけるために」	高山市伝統構法木造建築物耐震化マニュアル 講演会、高山まちの博物館 研修室	2014年7月
30	鈴木 祥之	報告会「石場建てを含む伝統的構法木造建築物の設計法」	伝統的構法の設計法作成及び性能検証実験検討委員会第四回フォーラム in 滋賀	2014年7月
31	鈴木 祥之	講演「伝統的構法の設計法作成及び性能検証実験検討委員会の検討成果と平成の京町家への応用」	平成26年度平成の京町家コンソーシアム総会	2014年7月
32	鈴木 祥之	講演「実務者のための伝統的構法木造建築物の設計法」	JIA 建築家大会2014 岡山、主催:益社団法人日本建築家協会、岡山コンベンションセンター	2014年9月
33	鈴木 祥之	講演「伝統構法の建築物とは」、伝統構法木造住宅の耐震対策—しなやかに粘り強く 地震に備える—	主催:NPO 法人ちりめん街道未来塾、会場:岩滝知遊館	2014年8月
34	鈴木 祥之	講演「石場建てを含む伝統的構法木造建築物の設計法」	これ木連第4回フォーラム東京報告会、主催:これからの木住宅を考える連絡	2014年10月

			会、会場：研究社英語センタービル 地下2階大会議室	
35	鈴木 祥之	講演「伝統構法木造建築物の耐震性と耐震補強」、高山市伝統構法木造建築物耐震化マニュアル実務者講習会	主催：高山市、飛騨高山伝統構法木造建築物研究会、高山市伝統構法木造建築物耐震化マニュアル活用検討委員会、会場：高山市役所、飛騨高山まちの博物館	2014年10月
36	鈴木 祥之	講演「伝統構法木造建築物の耐震性と耐震補強」、『伝統構法と向き合う』～限界耐力計算を習得するための講習会～	主催：NPO 法人ちりめん街道未来塾、会場：加悦地区公民館	2014年11月、12月
37	鈴木 祥之	講演「伝統構法木造建築物を未来につなぐ」、立命館土曜講座第3117回「歴史都市と災害」	主催：立命館大学、会場：立命館大学衣笠キャンパス末川記念会館講義室	2014年12月
38	鈴木 祥之	講演「伝統構法木造建築物の構造的長一伝統の美と知恵について」	京都造形芸術大学木造伝統工法国際デザインシンポジウム「日本の伝統木造建築の可能性」、会場：京都造形芸術大学至誠館	2015年3月
39	河角 龍典	「阪神大震災から20年 今日の研究者3人に聞く」	京都新聞	2015年1月16日 朝刊
40	豊田 祐輔	楽しみながら真剣に行う防災	いばらきまちづくりラボ (いばラボ)	2014年10月18日～2015年1月24日
41	豊田 祐輔	Community-based Disaster Mitigation and Management of Evacuation Shelter	Training of Trainers (TOT) - Disaster Mitigation Program under Professional Human Resources Development Project IV (PHRDP III) of Indonesia	2014年11月6日～2014年11月6日
42	豊田 祐輔	Policy Process for Community-based Disaster Risk Reduction in Japan	12th Collaborative Workshop on Policy Formation for Urban Development and Conservation of Historical and Cultural Aras in Kyoto	2014年12月17日～2014年12月17日
43	豊田 祐輔	政策科学部：防災やまちづくりが身近になるオリジナル・ゲーム	Discover Japan	2015年1月～2015年1月
44	豊田 祐輔	京都から世界へ発信 立命館大学のユニークな取り組み	東洋経済 ONLINE	2015年1月～2015年1月
45	豊田 祐輔	今後の地域防災へ向けて	葦原地区自主防災会『あしはら防災ひろば2015』	2015年2月8日～2015年2月8日
46	豊田 祐輔	将来の災害に備える	茨木市消防本部『防災講演会』	2015年2月20日～2015年2月20日
47	豊田 祐輔	地域防災を支えるシニア力	京都 SKY センター『防災セミナー ～地域を支えるシニア力～』	2015年2月27日～2015年2月27日
48	吉越 昭久	鴨川の「寛文新堤」の機能と効果」災害に強いまちづくり講座 II 歴史災害から学ぶ 平成26年度講演録	一般社団法人京都市防災協会	2014年
49	青柳 憲昌	京都新聞「守山宿地割り 340年継承 立命大生が卒論で解明『まちづくり活用を』」	京都新聞 2014年5月9日 24面	2013～2014
50	青柳 憲昌	京都新聞「守山宿の建物 伝統継承 歴史塾始まる 立命大講師が紹介」	京都新聞(滋賀版) 2014年5月19日 23面	2013～2014
51	青柳 憲昌	守山市民新聞「守山宿 江戸時代の地割りを継承 立命館大学建築史研究室が解明」	守山市民新聞 2014年5月25日 2面	2013～2014
52	青柳 憲昌	「歴史まちづくり法に基づく草津市のまちづくり」	『立命館大学びわこ・くさつキャンパス地域連携事例集2014』立命館大学総務部 BKC 地域連携課、2015年3月、p.24	2014
53	武田 史朗	「壬生オアシスガーデン」における小規模自主管理広場の実験的運営管理	「騒音気にせざラジコ体操～正面だけに音 超音波スピーカー～」京都新聞 夕刊：9月3日(水)8面A	2014年9月3日～
54	武田 史朗	「壬生オアシスガーデン」における小規模自主管理広場の実験的運営管理	「超音波スピーカーさらば騒音 ～住宅密集でものびのび体操～」2014年10月7日、朝日新聞(夕)10A	2014年10月7日～
55	武田 史朗	「壬生オアシスガーデン」における小規模自主管理広場の実験的運営管理	「壬生オアシスガーデンで遊ぼう!」京都三条ラジコカフェ (NPO 法人京都コミュニティ放送) の番組「まちづくりチョビット推進室」内のインタビュー	2014年12月20日～
56	武田 史朗	福良港津波防災ステーション ランドスケープ (作品)	造園作品選集 Vol.12 (日本造園学会誌増刊第77号), p26-27,	2014年～
57	武田 史朗	あまが池親水緑地	造園作品選集 Vol.12 (日本造園学会誌増刊第77号), p24-25	2014年～
58	武田 史朗	立命館大学理工新棟トリアおよびそのランドスケープ	ランドスケープデザイン, マルモ出版, No.98, 2014年8月, p30-31	2014年～

59	武田 史朗	立命館大学大阪いばらきキャンパス計画およびランドスケープ	ランドスケープデザイン, マルモ出版, No. 98, 2014年8月, p25-28	2014年～
60	宗本 晋作	建築作品「裏錦・空錦・小錦」	SD REVIEW 2014 入選展 (審査有) SD2014 鹿島出版会	2014.12
61	崔 明姫	Lecture: ” Economic Damage of Tourism Sector in Historic Cities”	“ 12th Collaborative Workshop on Policy Formation for Urban Development and Conservation of Historical and Cultural Areas in Kyoto” the College of Policy Science of Ritsumeikan University and the Faculty of Architecture and Urban Planning of Thammasat University,	2014年12月16日
62	崔 明姫	みどりが丘小学校、地域の安全安心マップ作成講習会の実施	「第8回夏休みにみんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト」の講習会、千葉県八千代市みどりが丘小学校	2014年8月3日
63	石田 優子	第26回滋賀地域地盤講演会「豪雨に起因する土砂災害に備える」 講演タイトル: 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」における2011年台風12号災害	立命館大学びわこ草津キャンパス	2014年10月6日
64	石田 優子	公益社団法人地盤工学会関西支部 「想定外」豪雨による地盤災害への対応を考える調査研究委員会		2012年4月～2015年3月
65	金 度源	NPO 災害から文化財を守る会・技術部会幹事		平成20年～
66	金 度源	歴史都市防災システム・機器開発研究会幹事		平成23年～
67	金 度源	手づくりピコ発電水車プロジェクト	堀川 京の七夕事業@堀川 京北第2小学校	平成20年～
68	金 度源	東本願寺と環境を考える市民プロジェクト 防災部門委員	東本願寺	平成20年～
69	金 度源	先斗町まちづくり協議会運営協力		平成26年～
70	金 度源	第3回国連防災世界会議パブリック・フォーラム防災・復興に関する展示 (研究所研究活動発表・紹介)	せんだいメディアテーク	平成27年3月14日～18日
71	米島 万有子	大分大学 平成26年度地域開放推進事業 (Jr. サイエンス事業) めざせジュニア防災マスター! ～楽しく学ぶ大分の街と防災～ (安全安心マップ講習会)	大分大学およびコンパルホール	2015年
72	歴史都市 防災研究所	京で防災の知恵学ぶ	京都新聞	2014年9月11日
73	歴史都市 防災研究所	復興へ…文化遺産の役割再考、 海外の研究者 南三陸を視察	仙台放送みんなのテレビ	2014年9月14日

(6). 受賞学術賞

No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1	矢野 桂司 中谷 友樹	ESRI ジャパン株式会社	「第10回GISコミュニティフォーラム」 マップギャラリー第1位	中谷友樹、矢野桂司、James Cheshire、Paul Longley 『あなたの名前みつけれますか?』	2014年5月
2	中谷 友樹 米島 万有子	地理情報システム学会	2014年度第23回地理情報システム学会学術研究発表大会 ポスターセッション賞	京都府南丹市におけるアライグマの社寺侵入被害の空間分析	2014年11月
3	吉越 昭久	公益社団法人日本地理学会	永年会員功労章		2015年3月
4	豊田 祐輔	Center for Tourism Studies, Gadjah Mada University	The Best Paper Presenter	A Study on Evacuation Simulation for Guiding Tourists in Himeji Castle Based on a Survey of Tourists' Intention in Evacuation after Earthquake in International Academic Conference on Tourism (INTACT)	2014年9月
5	川合 誠	電子情報通信学会	電子情報通信学会 業績賞	マルチポートアンブの発明とマルチビーム移動体衛星通信実用化への貢献	2014年6月

(7). 科学研究費助成事業						
No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	中谷 友樹	地理的剥奪指標に基づく近隣健康格差の分析	基盤研究(B)	2012年4月	2015年3月	代表
2	中谷 友樹	所得格差の要因と影響に関する地理学的研究	基盤研究(B)	2012年4月	2015年3月	分担
3	板谷 直子	地域の文化遺産が被災後の復興に果たす役割に関する研究	基盤研究(C)	2013年4月	2016年3月	代表
4	板谷 直子	世界遺産バッファゾーンの「文化遺産共生地域」としての整備モデル構築のための研究	基盤研究(B)	2013年4月	2016年3月	分担
5	豊田 祐輔	災害対策に対する地域住民受容解の探索を目指した意思決定手法の開発	研究活動スタート支援	2013年8月	2015年3月	代表
6	矢野 桂司	地理的剥奪指標に基づく近隣健康格差の分析	基盤研究(B)	2012年4月	2015年3月	分担
7	矢野 桂司	多様な主体による参加型GISの構築と応用に関する研究	基盤研究(A)	2013年4月	2016年3月	分担
8	矢野 桂司	GISベースの日本版センサス地理学の確立とその応用に関する研究	基盤研究(B)	2012年4月	2015年3月	代表
9	青柳 憲昌	世界遺産バッファゾーンの「文化遺産共生地域」としての整備モデル構築のための研究	基盤研究(B)	平成25年度	平成27年度	分担
10	塚口 博司	『迷い行動』の分析に基づいた歩行者サインシステムの高度化に関する研究	基盤研究(C)	2014年4月	2016年3月	代表
11	山内 寛紀	防犯カメラ映像の映像改善と異同識別技術革新により犯罪捜査を加速する研究	基盤研究(B)	2013年4月	2016年3月	代表
12	吉富 信太	動的縮約モデルを用いた柔床・多構面モデルの非線形システム同定法	基盤研究(C)	2013年4月	2016年3月	代表
13	吉富 信太	最悪地震動理論の信頼性向上とロバスト性・冗長性に優れた建物の構造設計法	基盤研究(A)	2012年4月	2015年3月	分担
14	吉富 信太	長周期地震動に対する複合制震ダンパーを用いた免震建物の構造設計法および耐震補強法	基盤研究(B)	2012年4月	2015年3月	分担
15	金 度源	社寺など地域遺産の震災被災者支援拠点としての活用実態と計画指針に関する研究	基盤研究(C)	2014年4月	2017年3月	分担

(8). 競争的資金等(科研費を除く)						
No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1	深川 良一	文化遺産を核とした観光都市を自然災害から守るための学術研究拠点	文部科学省・私立大学戦略的研究基盤形成支援事業	2010年4月	2015年3月	代表
2	矢野 桂司	大規模京町家のアーカイブに関する調査研究	住総研2014年度研究助成	2014年4月	2016年3月	代表
3	豊田 祐輔	地震津波災害を中心とした防災に関する共同調査と研究	志摩市官学連携研究助成事業	2014年4月	2015年3月	代表
4	豊田 祐輔	世界文化遺産・姫路城における観光客の避難・帰宅システムの開発に関する研究	姫路市連携大学フィールドワーク支援事業	2014年4月	2015年3月	代表
5	鐘ヶ江秀彦	観光地における避難準備へ向けた大学・地域連携による情報マネジメントモデルの開発	JSPS 二国間交流事業共同研究	2012年4月	2015年3月	代表
6	土岐憲三	UNESCO Chair「文化遺産と危機管理」国際研修の拡充と研修後のフォローアップ	トヨタ財団 イニシアティブプログラム	2014年4月	2017年3月	代表

(9). 知的財産権								
No.	氏名	名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
1	大窪 健之	地域防災情報システム		共同発明者	特願 2014- 005200			日本
2	大窪 健之	地域防災情報システム・警報システム		共同発明者	特願 2014- 005324			日本
3	深川 良一	弾性体を利用した孔内 載荷試験装置					特許第2571419号	日本

以上